

『西原の考古』 発刊で  
お世話になったみなさんへ

町民のみなさん

に『西原町史』第五  
巻・資料編四「西原の考古」  
をお届けいたします。

また、本巻を編集するにあ  
たっては、町民のみなさんに  
多大なご協力をいただきました。

今回の町史では、先史時代  
の遺跡から御獄・押所やみな  
さんの身近にある井戸や道  
路、生活用具などを考古学的  
にとらえています。特に沖繩

幸地の与那嶺次郎さん、翁  
長三郎さん、翁長孝俊さん、  
棚原の伊波精吉さん、伊波喜  
恒さん、宮里善徳さん、伊波  
時男さんをはじめ有志のみな  
さん、徳佐田の安座間喜安さ

戦時に構築された陣地壕を戦  
跡考古学的な手法であつかっ  
たところに本巻の大きな特徴  
があるといえます。

さん、安座間喜正さん、森川の  
鳥袋成喜さん、鳥袋松正さん、  
翁長の西原善栄さん、呉屋の  
呉屋永輝さん、津花波の与那  
嶺武丈さん・喜一さん、嘉手  
苅の与那嶺昌吉さん、高江洲  
キヨ子さん、安室の与那城長  
助さん、池田の宇久田朝秀さ  
ん、また各自治会長のみなさ  
んにはたいへんお世話になり  
ました。現地を一緒に歩いて  
説明していただいたり、お茶  
を飲みながらお話を聞かせ  
ていただいたりと、とても楽  
しく調査させていただきました。

ました。  
野外の調査では、ハブにて  
あう、道に迷うなどいろいろ  
なハブニングもありました  
が、畑の中で道に迷ったとき  
には、軽トラックの荷台に乗  
せていただいたり、ヤブに入  
るときには草を刈っていただ  
いたり、町民のみなさんには  
本当に親切にしてくださいま  
した。この場をかりてお礼を  
申し上げます。

また、発刊間際には旧仲伊  
保出身の石大工であった安里  
昌盛（故人）さんの石大工道  
具を、息子の安里昌市さんか  
ら寄贈していただきました。  
考古編では道具の実測などが  
中心でしたが、現在編集中の  
産業編では、石大工について  
もうすこし調査する予定にな  
っています。ですから、今回  
の寄贈はこれからの町史編集  
にとってはいへん貴重なも  
のとなりました。安里さん、  
ありがとうございました。

## ☆町民のみなさんへのお願い

- 遺跡などの付近で、何らかの工  
事を行う際には、町役場の建築  
確認申請時に、（文化財保護法に  
則って）町教育委員会生涯学習  
課と調整してください。

飲んでいただきまし  
た。そのほかにも道ばたや畑  
で出会った町民のみなさんか  
らもたくさんお話をうかがい

町史編集を通した町民のみ  
なさんとの出会いは大切にし  
たいなあ、と強く感じていま  
す。みなさんも、ぜひ一読し  
ていただきたいと思います。